

事業所名 児童発達支援センターなないろハウス

公表:令和 7年 5月 1日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4		個別の部屋とグループの部屋を使い分けている。曜日や時間によっては人数が多くなることもあるが時間をずらして対応している	
	②	職員の配置数は適切であるか	9				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	3		玄関に段差があるが設置型のスロープを購入している	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	1		朝のミーティングや職員会で情報共有を行っている	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			保護者向け自己評価の結果を職員間で共有している	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			ホームページにて公開している	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			9	今後受ける予定	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1		研修の案内を回覧している。個人で受けたいものに参加してもらってそれを職員に共有している。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			アセスメントやモニタリングを元に支援計画を作成している	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1		保護者のニーズやセラピストの提案で評価を行っている	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3		リーダーが計画をしてチームで検討している。各職種で話し合いながらプログラムを決めている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			おなじ内容を続けて実施しないようにしている。同じねらいでも活動が被らないように前回の活動の確認をしている	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	3		長期休暇は子どもが発散できる内容を取り入れている。平日は宿題等で学習内容や理解度を把握している	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			子どもに応じてSTの個別やOTの個別やグループ療育を決めて支援計画を作成している。	

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			事前にミーティングを行ってサブの動きや声掛けの仕方など細かい確認をしている。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1		事後ミーティングを行って反省点や改善策などを話し合っている。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			HUGで記録を行い保護者に共有している。	
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			年に2回実施している。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	8	1		子どもたちがさまざまなことに挑戦できるような工夫を行っている。	
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1		主に児発管が参加している。	
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			送迎時間や送迎場所が記載されたスケジュールを渡している。	
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		7	2	対象児童なし	
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3	1	必要に応じて情報共有をしている。	
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		7	2	対象児童なし	
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1		諫早こども医療福祉センターで研修を受けている。	
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	4	3		
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	3		児発管が参加している	
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1		送迎の際やHUGを通して成長や課題を伝えられている。	HUGで記録を公開してもあまり読まない方もいる。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4	1	相談に乗ったりアドバイスを行ったりしている。	

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			契約時に行っている。	
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			保護者から相談があった際には個別で対応している。それらを職員間で共有している。	
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	2		年度に4回開催している	
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			苦情窓口の設置を行う	
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			月1回ないろだより発行。それを公式ラインで公表している。	
	⑮	個人情報に十分注意しているか	9			個人ファイルを作り保管の徹底	
	⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			HUGを利用し、チャットなど視覚的に見返せるもの、子どもに対しては絵カードの掲示。	
非常時等の対応	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	4	今年度は事業所見学会を行っていない	
	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9			研究・訓練を行っている。感染症・KYTトレーニングなど。	
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			実施している	
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			虐待防止委員会を設置し、研修を行っている。	
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9			支援計画に記載している	
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	2	対象者なし。契約時にアレルギーの有無の確認する。	
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			状況を詳しく記録し、共有する。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。